

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 104)

団体名	(特非)但馬を結んで育つ会	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 千葉 義幸
事業名	オンライン診療・オンライン福祉相談窓口(テレビ病院)設置事業		

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等で記入</small>	場所	参加者 <small>一般 (スタッフ)</small>	活動内容 <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small>
5月5日～6日	小林たばこ総合会館	56 (8)	ゴールデンウィーク臨時オープンイベント。あけのべカフェ、空想土産屋・明延購買部を臨時オープン
5月13日	小林たばこ総合会館	35 (6)	三股町民生委員児童委員協議会、養父市社協、明延地区等との意見交換会
6月22日	小林たばこ総合会館	150 (15)	小林たばこ総合会館オープンイベント
9月9日～14日	小林たばこ総合会館	60 (8)	豊岡演劇祭フジンジセクション(小林たばこ総合会館を舞台にアーティストと地元高齢者との交流を通じての作品創作と発表)
10月5日	小林たばこ総合会館	10 (8)	内閣府孤独孤立対策推進室室長等との意見交換会

< 効果と成果 >

小林たばこ総合会館に、テレビ病院(オンライン診療・オンライン福祉相談窓口)の機能を実装することができた。オンライン診療については、行政・地元診療所等と連携して進めることができたため、次年度の本格運用に向けて大きなスタートをきることができた。オンライン福祉相談窓口については、看板を掲げただけではだれも利用しないという考えのもと、まずは、同会館が地域の方にとって日常的に集える場所となるよう、そのための仕組みをつくった。有機野菜や日用品を販売する明延購買部、喫茶スペースなどはその一つである。その結果、今では地元高齢者のサロンや健康体操などの場として、日常的に利用される場所となった。このような場での交流のなかで、ボランティアスタッフが異変等を感じた場合には、必要な相談窓口へつなぐという導線も確立することができ、地域住民の日常のなかに溶け込んだ福祉相談窓口になったとえいる。

< 今後の展望 >

今年度は、行政との連携のもと小林たばこ総合会館においてオンライン診療の実証実験を実施することができ、次年度につながり大きなスタートを切ることができた。取組をすすめるにあたり、行政や地元社会福祉協議会などの団体と連携をすることで、より深みをもった取組として発展していることを実感している。次年度以降も、小林たばこ総合会館が今よりも地域に溶け込んだ場として機能していくように、各種機能の充実を図るべく取組をすすめていきたい。そのためにも、小林たばこ総合会館の運営にかかわるボランティアスタッフ等の人員の強化を図りたい。また、地域外の人との交流を促進できるように、外部への発信についても工夫していきたいと考えている。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	3 5 0 , 0 0 0
自主財源等	5 5 , 3 5 2
合 計	4 0 5 , 3 5 2

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	9 9 , 9 4 5	9 9 , 0 0 0
	旅費交通費	2 0 8 , 8 7 5	1 7 0 , 0 0 0
	消耗品費	9 6 , 5 3 2	8 1 , 0 0 0
	小 計	4 0 5 , 3 5 2	3 5 0 , 0 0 0
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		4 0 5 , 3 5 2	3 5 0 , 0 0 0